

⑤2024年問題への取組みについて

	三重西濃	東京西濃	西濃通運	昭和冷蔵	エコアライアンス
新たに取組みした内容(テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> 貸切運行(固定運行)について、お客様と月1回の定例会を7月より開催。 課題として「運行時間の見直し」を協議し、荷卸到着時間を1時間遅らせて頂く事を了承。また、関東便において出発時間を1時間早めて頂くことを了承頂いた 	<ul style="list-style-type: none"> 全従業員の残業時間の目標、実績、月の途中でも月末までの残業見込みを把握出来るシステムを構築し毎月管理を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> 乗務員の拘束時間と勤務時間インターバルの管理 点呼から点呼までの拘束時間管理表を作成し、その中で、勤務時間インターバルの9時間がしっかりと取れているか確認する 	<ul style="list-style-type: none"> トラック予約受付システム(Hacobu)導入 以前に導入に向けた検討を実施したが、その際は費用対効果があまり見込めないとの結論に至った。しかしながら2025年1月以降に既存業務の拡大がありそれにあたり入出庫車両の増加が見込めるので、再度システム導入を目指していく 	<ul style="list-style-type: none"> 【実運送】 乗務員の運行時間の管理 →全ての運行コースの一回の運行時間から一カ月、一年の運行時間を想定し、ドライバーのスキルに合わせた配車パターンの構築 →コンプライアンスに抵触する運行コースの改善
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> 乗務員の方も休息時間の管理が出来、拘束時間の短縮が図れ、コンプライアンス遵守が出来ている 	<ul style="list-style-type: none"> 単月では一部の従業員が目標を超過した事例もあるが、翌月以降に調整をかけコンプライアンスを遵守している 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間インターバル9時間以上を厳守することを目的に実施 今までは、一日15時間を超えない運行に注視していたが、勤務時間インターバルの時間を表記することにより、9時間の休息時間についても意識して管理するようになり、乗務員へ指導ができるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> 構内における待機車両の削減及びデータ活用 送り状の事前入手による事務作業の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 乗務員の残業時間の想定が出来るようになった 運行内容の改善やコース返却により、荷主と当社のコンプライアンスの抵触のリスクが無くなった